



全 PSI 加盟組合に対する公式報告 — 2013 年 11 月 13 日

国際公務労連運営委員会第 17 回会議 2013 年 11 月 11～12 日開催

国際公務労連 (PSI) の副会長が 11 月 11 日、12 日、PSI 運営委員会にて前回 EB 以降の進展を評価し、今後の優先課題と活動を決定しました。

会議では、公共サービスとそれを提供する労働者に対する非難が高まっていること、世界全体で不平等が拡大していること、現在の経済制度が雇用創出、とりわけ若年世代の雇用確保につながっていないことに対する憤りのもと、2013-2017 年行動プログラムのコミットメントは「質の高い公共サービスを通じた社会正義」であることを再確認し、2013 年の優先行動を承認しました。

運営委員会は、以下を通じて世界各地で PSI の行動について認知度を高めていくことに注目しました。

- グアテマラに重要な連帯使節団を派遣し、労働組合活動家の殺害と脅迫をやめさせるよう政府に圧力をかけること
- PSI 書記長を、水と災害に関する国連ハイレベル専門家・リーダー委員会に任命すること
- 新たに世界規模で進められている税の正義運動で PSI がリーダーシップを発揮すること
- ギリシャ加盟組合の戦いを紹介する EPSU-PSI コミュニケーター行動ネットワーク
- 2013 年国連婦人の地位委員会に強力な PSI 代表団を送ること
- 公共サービスと労働権を攻撃する労働協定と戦うこと
- 部門別活動に引き続き注目すること

これらの活動を土台に、運営委員会はさまざまな行動を承認しました。主なものは以下のとおりです。

- 活動のあらゆる面で組合の力を増強するために、組織化と成長に引き続き注目していくこと
- 保健・ソーシャルサービス、教育、メディア、文化を中心とした部門別の活動を強化し、各部門で労働者の権利と利益を擁護すること
- 先ごろ団体交渉権を奪われた国連職員組合を支援し、各国政府にこの問題を訴えるよう加盟組合に呼びかけること
- 台風で甚大な被害を受けたフィリピンの加盟組合と労働者、その家族に連帯支援を提供し、人命救助と地域再建のために危険を冒しながら献身的に取り組む世界の災害応急ワーカーの支援を誓うこと
- 脱税と腐敗に対する世界キャンペーン
- 公共サービスの土台を蝕む協定を中心に、有害な労働協定と戦うこと
- 年金基金として維持されるワーカーズキャピタルが公共サービスを支える資金源となるようにすること

運営委員会は 2014 年度予算を採択し、その上で、活動資金を確保するために財政基盤を安定させることを目的とした 5 年計画に引き続き取り組むことに留意しました。

運営委員会では、PSI と各地域の人材配置に先ごろ変化があったことに注目し、デイビッド・ボーイズ氏の新しい PSI 書記次長就任、および新たに教育・文化・メディア部門を担当するオフィサーの任命を歓迎しました。議事録は近日中に PSI のウェブサイトですべての加盟組合向けに公開する予定です。

連帯

PSI 書記長 ローザ・パヴァネリ

添付書類: 国連職員組合に対する支援声明、フィリピン加盟組合に対する連帯声明